

# 刑法論文対策講義

木村 匠海

## 0 はじめに

この解説講義は刑法の勉強を一周まわした方を想定して作成していますので、初見で手を出すのはあまりお勧めいたしません。予備試験・司法試験論文対策、ロースクールの期末対策など、刑法の知識を論文向けに深掘したい方、どんな問題が出てでも対処できるような思考方法をインプットしたい方にお勧めします。

刑法は、答案の型や論証がお決まりなので、全受験生が同じようにできる分野になります。そのため、他の受験生が書いているところを落とすと点数に差がつく科目になります。ですが、上位答案を狙う場合、論点を落とさないことに加えて、事実を適切に評価し、法律を事実にあてはめることができるかという点が重要になります。

このテキストでは、受験生の皆さんが使用している論証集に付加価値をつけるものになります。市販の論証集の中には、間違った解釈をしているものもあるので、再確認して理解してください。また、各章で論証も提示していますが、理由付けも含めてコンパクトにまとめています。司法試験では、規範の理由付けを長く書くのであれば、あてはめを長く書いた方が点数になります。必要に応じて、論証の長さは変えてください。

総論分野では、規範はコンパクトにして、そのあてはめまで記載しています。また、あてはめしやすいように事案ごとに類型化も試みています。自身が答案を書く際に参考にしてください。

各論分野では、構成要件の解釈とあてはめをリンクさせるように説明しています。適切にあてはめを行うためには、構成要件の解釈が適切でなければなりません。特に出題されやすい財産犯の分野では、各構成要件で問題となる判例を挙げて、構成要件の解釈とそのあてはめを摘示しています。

このテキストは、自身がロースクール時代にまとめたノートの他、受験生の多くが使用している刑法の基本書、解説書、判例書も以下のとおり参考にしていきます。受験生の方々が持っている基本書、まとめノート、論証集なども合わせて理解を深めていただければと思います。

- ・井田良『講義刑法学・総論〔第2版〕』（有斐閣，2018）
- ・井田良『講義刑法学・各論〔第2版〕』（有斐閣，2020）
- ・佐伯仁志『刑法総論の考え方・楽しみ方（法学教室ライブラリ<sup>1</sup>）』（有斐閣，2013）
- ・橋爪隆『刑法総論の悩みどころ（法学教室ライブラリ<sup>2</sup>）』（有斐閣，2020）
- ・井田良『刑法総論の理論構造』（成文堂，2005）
- ・山口厚・井田良・佐伯仁志『理論刑法学の最前線』（岩波書店，2001）
- ・井田良・佐伯仁志・橋爪隆・安田拓人『刑法事例演習教材〔第3版〕』（有斐閣，2020）
- ・山口厚『基本判例に学ぶ刑法総論』（成文堂，2010）
- ・山口厚『基本判例に学ぶ刑法各論』（弘文堂，2011）
- ・佐伯仁志・橋爪隆編『刑法判例百選Ⅰ〔第8版〕』（有斐閣，2020）
- ・佐伯仁志・橋爪隆編『刑法判例百選Ⅱ〔第8版〕』（有斐閣，2020）

<sup>1</sup> 各論部分：法学教室連載 355号～378号

<sup>2</sup> 各論部分：法学教室連載 427号～459号